

## 知多工場第2棒鋼圧延工場生産高 月間10万トンの新記録達成

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、知多工場で熱間圧延鋼材を生産する第2棒鋼圧延工場において、2019年3月に新記録となる月間圧延鋼材生産高10万トンを達成しました。

特殊鋼の生産は、自動車メーカーの旺盛な需要を受け、極めて高水準で推移しています。これにお応えするため、当社は2018年度、年間計画生産量を超える受注量に対応する策として、5万トン／年の増産を図る社内プロジェクトを立ち上げ、知多工場全体での現有設備の生産能力最大化、ライン別生産品目の見直し、出荷体制の整備、構内物流の整流化などを実施してきました。

特に、当社の特殊鋼の約8割を生産する第2棒鋼圧延工場では、加熱・圧延工程の生産性向上や次工程の検査ライン増設などに取り組んできました。その結果、2018年7月には1989年の同工場稼働以来最高となる月間9万3千トンを、今回はそれを更に7千トン上回る生産を達成しました。これは、単一棒鋼生産ラインとしては同業他社でも類を見ない記録です。

今後も、多様化するニーズに対応しながら、リードタイム短縮と品質向上に取り組み、鋼材を短納期かつ安定的に供給することで、お客様のモノづくりに貢献していきます。



稼働する第2棒鋼圧延工場の圧延ライン